

源平盛衰記

浮世絵に見る明治憲法

主催者 神奈川県立博物館

展示場所 同上

展示期間 昭和54年4月28日—5月20日

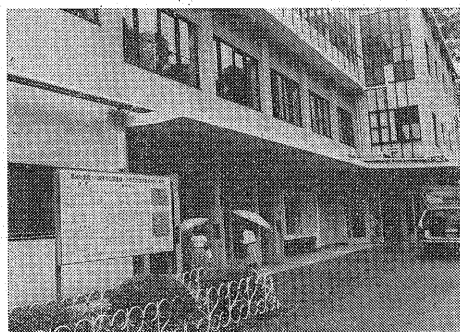
貸出資料

東洋大日本国憲案

井上毅書状

など12点

探訪記



小田原市立図書館

中 林 隆 明

小田原城跡の一角に「小田原市立図書館」がある。古い城下町として栄えた同市も、近隣の町村を合併、現在人口18万の中都市に発展した。ユニークなコレクションを抱える市立図書館は52年度末で9.3万冊。住民2人で1冊の比率だ。

54年6月7日、折からの雨—それも梅雨入りの初日でもあったが—に煙むる小田原市立図書館を訪問、川添館長に面会した。森徳行司書に資料の案内を乞う。書庫は新旧に分かれ、それぞれ2層から成る。旧館の3層が特殊コレクション・コーナーだ。

「全国特殊コレクション要覧」(昭和52)未収録分として、青蛙荘文庫があった。

これは元同館館長石井富之助氏の収集にかかる郷土資料で、1,300点ある。未整理の集書では、甲賀流忍術第14世故藤田西湖氏旧蔵の藤田文庫があり、和装本、巻物(免許皆伝など)を含め、約2,200点。

他に坂口安吾とも親交のあった山内我乱の旧蔵書、歌舞伎座とも関係のあった鈴木十郎・元小田原市長寄贈本を收藏する。

当地出身の作家として、北村透谷、牧野信一がおり、先年文化勲章を受賞した尾崎一雄氏に至るまで、文学者の系譜は脈々として生きている。この伝統を継ぐ新進作家の輩出を期待しつつ、夕刻の激しくなった雨の小田原を後にした。